

大高緑地の自然・7月(文月)

ふみつき

今年も東海地方、特に名古屋では空梅雨で6月はほとんど雨が降りませんでした。

当緑地に置いても花壇を整備してくださるボランティアさんが毎日、マリーゴールド等の水やりに精を出していただいています。恵みの雨を望みます。

これからが夏本番になりますので暑さ対策をしっかりして、散策などを楽しんでください。

■今月は、二十四節季の小暑(七月七日)・大暑(七月二十三日)があります。

●その他、富士山山開き(七月一日)、半夏生(七月二日)海の日(七月二十一日)、津島天王まつり(七月二十六日)、土用の丑(七月二十九日)



●ネムノキ(琵琶ヶ池東側)



●四匹亀の甲羅干し・(和風園)

●トウカイコモウセンゴケ(花木園)



●キョウチクトウ(二号線入口)



●ハナゾノツクバネウツギ【アベリア】



●トウネズミモチ(桜の園)



●ナンキンハゼ(ペビーゴルフ前)



●オカメザサ(和風園)



●トウカイコモウセンゴケは食虫植物でこの時期ピンクの可愛い花が咲く。

●キョウチクトウは夏に咲く代表樹木である。樹液は毒性が強く、口に入れないこと。

●ハナゾノツクバネウツギは開花期が長く秋まで咲く。ガクの赤色も美しい。

●トウネズミモチは中国原産、秋に黒く実が熟しネズミの糞に似る。漢方薬になる。

●ナンキンハゼは春の芽出しが遅く四月下旬頃。冬に実は白くなりリースの材料に。

●オカメザサは東京(鷲神社)の西の市でこのササにお多福の面を飾り付けたのが由来